

パラリンピアンと考える障がい者スポーツ

障害はスポーツをする上で選手が乗り越えるべき壁なのか？

○日時 12月8日（日）9:30 受付 10:00 開始 11:30 終了

○対象 どなたでも参加可能（最大 100 名）

○場所 長崎国際大学 4101 教室（予定）

障がい者スポーツのトップアスリートである古城暁博（こじょう あきひろ）選手をお招きし、古城選手のこれまでの経験談等を聞きながら、みなさんとともに「障害はスポーツをする上で選手が乗り越えるべき壁なのか？」について考えていければと思っています。また、せっかくの機会なので、障がい者スポーツを体験していただくことも計画しております。



ラグビーW 杯日本大会の盛り上がりを受け、さらに期待が高まる東京オリンピック・パラリンピックでは、普段目にする機会の少ない障がい者アスリートの活躍を見ることができます。一足先に皆さんと障がい者スポーツの魅力を楽しみながら学びあえればと考えています。

古城選手は、2000年シドニーパラリンピックの陸上競技 100m (T42 クラス) に出場し、8 位入賞を果たしたパラリンピアンです。陸上競技引退後、アンプティサッカー（上肢や下肢に障害のある選手が行うサッカー）を始め、アンプティサッカーW 杯に 2014 年と 2018 年の 2 大会連続で出場されています。2018 年 W 杯では、日本代表チームのキャプテンも務められました。現在、健常者サッカーの監督をされるなど、指導者としてご活躍されています。



参加申し込み・問い合わせ先
長崎国際大学人間社会学部国際観光学科
助教 宮本 彩
メール：a-miyamoto@niu.ac.jp
電話：0956-20-5533

本イベントは、2019 年度スポーツ庁「大学スポーツ振興の推進事業」により開催いたします。